

平成24年度

事業報告書並びに収支計算書及び貸借
対照表、正味財産増減計算書、財産目録、
附属明細書（案）

公益目的事業 1

駿府博物館の展覧会事業及び芸術文化の普及事業

A. 展覧会活動

1. 特別展「雪月花—美人画の四季」

会 期 平成24年3月31日（土）～5月13日（日）

休館日 月曜日（※4月30日は開館、ゴールデンウィーク中は無休）

開館日数 39日間

開館時間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）

入館料 一般800円（600円）、高校・大学生600円（500円）

駿府博物館友の会会員400円、団体10名以上2割引き

中学生以下・障害者手帳呈示の方無料 ※（ ）内前売り料金

主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送

後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会

協 力 培広庵コレクション

企画協力 ステップ・イースト

講演会 1「近代美人画の魅力」

講師／青山訓子氏（岐阜県美術館学芸員）

日時／4月15日（日）13時30分～講演会（講座室にて）

ギャラリートーク

日時／4月8、22日、5月13日の日曜日 10時、14時

内 容 近代美人画の魅力は、女性らしい曲線美が放つ優美な構図と艶やかな色彩美、さらには日本の伝統文化や風雅な趣きを感じることができる。本展は監修者・加藤類子氏が厳選した明治から昭和にかけて描かれた美人画の中から、上村松園、鏑木清方らによる、83点が、四季に分けて展示された。普段当館にあまり来館しない若い層にも新鮮な印象を持ち訴求できたことは事業効果としては、好ましい結果だった。

入館者 有料：2,642人 無料821人 合計3,463人

佐伯祐三、岸田劉生、林武・・・

2. 企画展 信越放送所蔵「巨匠でたどる日本の洋画」

会 期 平成24年5月19日(土)～7月1日(日)
休館日 月曜日
開館日数 38日間
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般600円、高校・大学生400円、団体10名以上2割引
駿府博物館友の会会員300円・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
ギャラリートーク
日時/5月27日、6月10、24日 10時、14時(展示室内)
講師/当館学芸員
内 容 信越放送(本社・長野市)が所蔵する美術コレクションから、巨匠の作品で日本洋画の流れをたどる展覧会で、安井曾太郎、岸田劉生、林武、佐伯祐三、東郷青児をはじめとする41作家約50点に同社広報誌の表紙絵原画、彫刻などを加えた70点を展示しました。画家の生年順に作品を展示して、順番に見ることで、日本の洋画史を大まかに伝えることができました。
入館者 有料: 1, 508人 無料695人 合計: 2, 203人

3. 館蔵展「多彩な書 黒白の空間」

会 期 平成24年7月7日(土)～7月29日(日)
休館日 月曜日(※7月16日「海の日」は開館し、翌日休館)
開館日数 20日間
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般300円、高校・大学生100円、団体10名以上2割引
駿府博物館友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
ギャラリートーク
毎週日曜日、14時(展示室内)
講師/当館学芸員
内 容 著名人による書作品などを集めた展覧会、当館所蔵作品から徳川家康、伊藤博文、乃木希典、手島右卿らが書いた49点を出品し、江戸期の越溪ら4人の僧侶による「達磨画賛」は並べて展示され、ユニークな表情描写が見比べることができた。
入館者 有料: 380人 無料: 143人 合計: 523人

4. 企画展「切り絵を魅せる一福井利佐の世界」

会 期 平成24年8月4日(土)～9月17日(月・祝)
休館日 月曜日(※9月17日「敬老の日」は開館)
開館日数 39日間
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般500円、高校・大学生300円、団体10名以上2割引
駿府博物館友の会会員250円・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料

ギャラリートーク

日時/8月11日(土) 14時(展示室内)

講師/福井利佐さん

出張授業

日時/7月12日(木) 10時30分～、13時～

講師/福井利佐さん

会場/静岡市立中田小学校、体育館

受講者/120名

ワークショップ① 切り絵で遊ぼう!

日時/8月11日(土) 10時～12時

講師/福井利佐さん 会場/駿府博物館・講座室 参加料/無料

参加者/24名 対象/小学校高学年～中学生

ワークショップ② 福井利佐の切り絵入門講座

日時/8月25日(土) 10時～15時

講師/福井利佐さん 会場/駿府博物館・講座室 参加料/¥500

参加者/36名 対象/どなたでも

内 容 福井利佐さんが出身地の静岡市で開く初めての個展、人物の表情をモチーフにした1999年の連作「個人的識別」や近作「阿吽の虎」下絵など70点余を出品した。繊細な線と大胆な構図で、生命の躍動を表現している作品が来館者の注目をあび、企画展では最高の入館者を記録した。

入館者 有料: 4,445人 無料: 1,477人 合計5,922人

5. 館蔵展 N I H O N G A ザ★BEST

会 期 平成24年9月22日(土)～11月4日(日)
休館日 月曜日(※10月8日「体育の日」は開館し、翌日休館)
開館日数 38日間
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般300円、高校・大学生100円、団体10名以上2割引

駿府博物館友の会会員・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料

ギャラリートーク

毎週日曜日、14時（展示室内）

講師／当館学芸員

内 容 当館が所蔵する近代日本画コレクションは、明治以降の画壇の歩みに名を記す著名画家の作品が揃う有数のものです。今回は当館が改めて、ご覧頂きたい38画家の作品42点を、「NIHONGA ザ★ BEST」と題して展開した。平成24年度国際文通週間記念切手の意匠に採用された伊東深水の「吹雪」、テレビ東京制作の美術番組「美の巨人たち」に取り上げられ、大反響のあった橋本雅邦の「林間残照図」を展示し、館蔵展では最高の入館者を記録した。

入館者 有料：1725人 無料：498人 合計：2223人

6. 企画展 山崎大抱と静岡の書家たち

会 期 平成24年11月10日（土）～12月24日（月・振替休日）

休館日 月曜日（※最終日の12月24日は開館）

開館日数 39日間

開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）

入館料 一般600円、高校・大学生300円、団体10名以上2割引

駿府博物館友の会会員300円・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料

イベント

11月10日（土）13時半 講演会「山崎大抱と静岡の書家たち」

講師：柿下木冠氏

11月24日（土）13時半 席書揮毫会（書作披露）

12月 8日（土）14時 作品解説会（ギャラリーツアー）

講師：大石千世氏

内 容 明治41年、高知県四万十市に生まれた山崎大抱は43歳（昭和26年）で静岡市に転居、以来東京在住期間を除き83歳で亡くなるまでこの地で書作に励み新風を巻き起こすなど大きな足跡を残しました。同郷で師と仰ぐ手島右卿が同27年に創立した独立書人団に当初から参画し、右卿亡き後は代表を務めました。今回は「静岡の書家」シリーズ第3弾として「山崎大抱」に焦点を当てるとともに、山崎大抱の薫陶を受けた書家たちの作品を紹介することができた。

入館者 有料：1,163人 無料：447人 合計：1,610人

7. 特別展 ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展

会 期 平成25年1月5日(土)～3月3日(土)
休館日 月曜日(※1月14日「成人の日」、2月11日「建国記念の日」は開館し翌日休館)
開館日数 50日間
開館時間 9時30分～17時30分(入館は17時まで)
入館料 一般1,000円、高校・大学生700円、団体10名以上2割引
駿府博物館友の会会員500円・中学生以下・障害者手帳呈示の方無料
イベント ジュディ・オング侑玉、ミニ・トーク&サイン会
日 時 平成25年1月12日(土) ①13時30分 ②15時30分
会 場 静岡商工会議所5階ホール
ミニ・トーク&サイン会は、午後2回で280名の入場者数
内 容 歌手、俳優としても知られるジュディさんが1975年から今年までに制作した木版画65点が出品された。民家、蔵、料亭など日本家屋を描いた作品が大半で、日展特選昨「紅楼依緑(こうろういりよく)」など幅1mを越える大作も多かった。静岡初開催ということもあって、2万人を越える入館者であり、大成功の特別展であった。
入館者 有料：2,215人 無料：2,576人 合計：22,791人

8. 第16回駿府博物館講座生合同作品発表会

会 期 平成25年3月7日(木)～3月13日(水)
休館日 9日(土)
開館日数 6日間
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)(※13日は15時まで)
入館料 無料
内 容 当館主催の版画、油彩画、水彩画、日本画、水墨画、仏画・写経、短歌、俳句講座の受講生および講師の作品を展示室を使用して開催した。
入館者 無料：342人 合計：342人

9. 第36回蘇峰会静岡県書道展

会 期 平成25年3月16日(土)～3月24日(日)
休館日 18日(月)
開館日数 8日間
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分)
入館料 無料
主 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送、駿府博物館
後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟

内 容 徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、静岡新聞・静岡放送社長賞など
大賞55点と優秀作品を展示した。

入館者 無料：566人 合計：566人

B. 教育普及活動

1. 年間講座

1. 古文書講座 第1・3土曜日 13時30分～15時30分
講師 中村典夫先生（駿河古文書会副会長）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数506名
 2. 水墨画講座 第2・4日曜日 12時30分～14時30分
講師 菊地静寿先生（日本画家）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数216名
 3. 日本画講座 第2・4日曜日 15時～17時
講師 菊地静寿先生（日本画家）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数310名
 4. 版画講座 第1・3木曜日 13時30分～15時30分
講師 杉山 彰先生（国画会準会員・静岡県版画協会理事）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数226名
 5. 油絵講座 第1・3金曜日 13時～15時
講師 池谷富美子先生（国画会準会員）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数192名
 6. 短歌講座 第2・4木曜日 13時～16時
講師 山口静子先生（静岡県歌人協会名誉会員）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数276名
 7. 水彩画講座 第2・4水曜日 14時～16時
講師 南城由起子先生（日展会友・白日会県支部長）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数924名
 8. 俳句講座 第2・4金曜日 13時30分～16時
講師 秋本恵美子先生（静岡県俳句協会会員）
期間 平成24年6月～平成25年3月 10ヵ月 月2回 延べ参加人数330名
 9. 仏画・写経講座 第1・3日曜日 13時30分～16時30分
講師 藤 白魚先生（仏画師）
期間 平成24年4月～平成25年3月 12ヵ月 月2回 延べ参加人数414名
- 参加者合計3,849名

2. 短期講座

1. 第9回短期歴史講座 幕藩体制創成期の諸政策

期間 平成24年9月～11月 計5回 土曜日 13時30分～15時30分

会場 静岡商工会議所5Fホール（静岡市葵区黒金町）

第1回 9月15日 「大御所家康没後の久能山・日光東照宮造営」

講師／小林 明氏（久能山東照宮博物館学芸部長）

第2回 9月29日 「徳川忠長の改易と幕藩領主支配の展開」

講師／厚地淳司氏（静岡県立御殿場高校教諭）

第3回 10月13日 「東海道22宿の整備と交通制度の確立」

講師／切池 融氏（湖西市中央図書館主幹）

第4回 10月27日 「近世成立期の幕領支配と伊奈忠次」

講師／本多隆成氏（放送大学静岡学習センター所長）

第5回 11月17日 「江戸初期の宗教政策—諸宗派とキリシタン弾圧」

講師／西田かほる氏（静岡文化芸術大学教授） 延べ参加人数 455名

3. 研修旅行

1. 「スケッチツアー 春の甲斐路 笛吹川フルーツ公園」

期 日 平成24年4月24日 日帰り 参加人数 40人

2. 「東海道の宿駅を訪ねる」

期 日 平成24年10月21日 日帰り 最少催行人数に達せず中止

3. 「京都の古刹・名刹を訪ねて」

期 日 平成24年10月23日 日帰り 参加人数 34人

4. 「スケッチツアー 秋の白州路」

期 日 平成24年11月13日 日帰り 参加人数 42人

参加者合計 116名

4. 友の会親睦会

期 日 平成25年3月9日 日帰り

見学地 鎌倉文学館と神奈川県立近代美術館

親睦会場 鎌倉プリンスホテル内のレストラン 参加人数 84名

5. 平成24年度友の会員数 総数 413名（前年比71名減）

事項	有料	無料	合計	備考
展覧会入館者数	32,078名	7,565名	39,643名	9展示
講座参加者数	3,849名		3,849名	年間9講座 短期1講座
研修参加者数				
ボランティア参加者				
博物館利用者数総計			43,705名	前年比 13,359名 増

公益目的事業2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への助成及び支援

「第50回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた善意の寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈した。今、最も必要とされているものを必要としているところに届けるため、財団HPと静岡新聞及び静岡放送のテレビ・ラジオを通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査の上、寄贈品と寄贈先を決めた。

1. 義援金(繰越金含む) ¥33,049,442
2. 寄贈団体・・・車両7団体 資機材・・・6団体

公益目的事業3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

「第2回ふるさと貢献賞」

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「小中学校の部」と「高校一般の部」に分けて行った。

表彰団体・個人・・・「小中学生の部」6団体

・・・「高校一般の部」1個人・8団体

収益事業

A. 図録などの販売

展覧会事業において、展覧会図録、はがき、書籍等の関連商品の販売を行った。

B. 併設画廊の貸与

個人やグループの展覧会のために1週間単位で1階画廊を有償貸与した。

C. 自動販売機の設置

入館者の便宜を図るため1階に飲料水の自動販売機3台を設置した。

D. 複製品の販売

専門業者を通じて所蔵品の複製品を販売した。

C. 画廊使用一覧

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 藤原正幸 残された民家展 | 平成24年5月1日～6日 |
| 2. 影山慎哉 SEIYA KAGEYAM 動物画展 | 平成24年9月25日～30日 |
| 3. 本山和泉・備前焼本山和泉親子作陶展 | 平成24年10月2日～8日 |
| 4. 西谷之男油絵展 | 平成24年11月20日～25日 |
| 5. 長井 貢 稜線を越えてⅡ | 平成25年2月19日～24日 |
| 6. 山鳩会日本画展 | 平成25年3月7日～13日 |
| 7. 清水政幸、弥生 備前作陶展 | 平成25年3月19日～24日 |

D. 館内業務

1. 職員の異動

平成24年4月17日より、駿府博物館の学芸員として新たに北泉剛史が加わる。

平成25年3月末、土橋幸彦の退職に伴い、2月より新たに山下徹が加わる。

2. 館蔵品の修理

株式会社墨仁堂(静岡市葵区大岩1-4-4)に依頼し、以下作品の修理を行った。

- ・勝海舟 「木葉天狗画賛」
- ・江川坦庵 「七律天城山中作」

- ・手島右卿 「四行慈鳥大其母唾々」
- ・西園寺公望「俳句」
- ・大久保利通「七言龍出洞門常作雨」

3. 作品・資料の購入・寄贈・寄託

1) 作品の寄贈

栗山茂氏より版画10点

栗山薫氏より版画2点

杉山彰氏より木版画1点(森の理09-IV)

杉山彰氏より木版画1点(森の理11-I)

4. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

- 1) 特別展・企画展・館蔵展9企画出品目録リーフレット(無料頒布)
- 2) 特別展「雪月花—美人画の四季」図録・グッズ(委託有料頒布)
- 3) 企画展「切り絵を魅せる～福井利佐の世界～」図録・グッズ(委託有料頒布)
- 4) 特別展「ジュディ・オング備玉、木版画の世界展」図録・グッズ(有料頒布)

5. 委託販売契約

1. 株式会社コミュニティネットと歴史グッズ委託販売覚書(平成21年6月～)

E. 館外業務

1. 写真貸与・掲載

- 1) 郵便事業株式会社に伊東深水「吹雪」写真を(平成24年5月8日～平成24年8月30日)貸与する。
- 2) 株式会社郵趣サービスに伊東深水「吹雪」写真を(平成24年8月30日～9月5日)貸与する。
- 3) 株式会社吉川弘文館に土佐光成「駿府鳥瞰図」写真を(平成24年10月18日～12月15日)貸与する。

2. 契約継続事項

- 1) 別館1階設置自販機の設置協定書をガイドードリンコ、ツキジフーズ、伊藤園3社と継続契約。(平成21年12月25日～)
- 2) ㈱トップアートと「駿府博物館(大石コレクション)日本画名品十二撰」複製画の販売契約再契約(平成21年12月25日～)
- 3) ㈱トップアートと伊東深水「吹雪」複製画の販売契約再契約(平成21年12月25日～)
- 4) ㈱トップアートと伊東深水「溪村春信」複製画の販売契約再契約

(平成 21 年 12 月 25 日～)

5) 前野会計事務所と顧問契約 (平成 22 年 7 月～)

6) (有)マネージメントタクトと TKC 会計システムのリース契約
(平成 22 年 10 月～)

3. 新規契約事項

1. (株)エンタテインメントプラスとチケットの委託販売契約

(特別展 「雪月花—美人画の四季」～)

(特別展 「ジュディ・オング情玉、木版画の世界展」～)

2. リコーリース(株)とコピー機のリース契約 (2012 年 2 月 9 日より)